

●中国系カナダ人女性人類学者が、移民法や儒教的束縛に閉め出された女の一生を描いた異色の作品。〔カナダ首相出版賞・受賞作品〕

グラスウイドウ

生寡婦

広東からカナダへ、家族の絆を求めて

Y・ウーン 著／吉原和男監修／池田年穂訳

長年にわたる調査と研究から生まれた本書『生寡婦』は、学生や一般読者に向けてわたしなりのやり方で記した「社会史」の著作です。一人の女の人生を軸に、三つの土地の歴史と文化を織りこんだ「物語」だからです。ディアスポラを扱ったほかの著作と同じく、このドラマティックな物語には、ウォン・サウペンが、家族や友人といった支えとなってくれるネットワークを何度も失ったことや、地理的、文化的境界を越える度にこうむった差別が描かれています。中国農村部のさまよえる亡霊と同じで、サウペンも、それまでの世界が音を立てて崩れ新しい世界が出現する度に、自分を再び現し身へと戻さねばならなかったのです。

ほかの北米中国人の文学とは異なり、この物語は、中国人男性の視点から描かれているわけではなく、また、北米生まれの中国人の視点から描かれているわけでもありません。これまではその歴史がほとんど語られることのなかった、戦後に北米に渡った一世の中国人女性の人生をまるごと描いたものです。そのため、彼女らの声が反映されるような社会的・文化的状況を設定しました。何と云っても、彼女らは文盲であった上に語るすべを持たなかったし、カナダは人種隔離をしていました。それに、彼女らとカナダ社会の主流派との間には超えられない文化的な壁があったのですから、彼女らの声は謎と神話の中に隠れてしまったのです。

わたしは、この小説が、読者の中に二つの感情を呼び起こすことを願ってやみません。一つは、地球上に散らばる、自分たちの力ではいかんともしがたい世界的な出来事によって国外に逃れざるを得なかった者たちへの同情であり、今一つは、人生での大きな挑戦に勝利をおさめていく彼ら、彼女らの立ち直る力への賛嘆の念です。

●目次 ● (原題: The Excluded Wife)

まえがき——日本の読者のために
序文 系図・地図

- 第一部 広東省台山県 (一九二九年～一九五二年)
- 第二部 香港 (一九五二年～一九五五年)
- 第三部 ヴァンクーヴァーのチャイナタウン (一九五五年～一九八七年)

訳者あとがき
解説(吉原和男)
監修者あとがき
用語解説・参考文献

▼一時帰国したカナダ移民の夫と結婚・出産の後、
姑や幼児とともに婚家での長い別離生活。

▼戦後の動乱・文革を逃れ香港での難民生活。そ
してヴァンクーヴァーの夫の元での移民生活。

▼華僑・華人及び移民の実像に迫る迫真のドラマ。

体裁
・A5判・並製・函入り
・五六〇頁
定価
・三五〇〇円
(本体価格／税別)

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一四一九
電話〇三(三八二八)九二四九
http://www.fukyo.co.jp

注文書

流通センター
取扱品

地小版
方

発売

風響社

TEL: 03-3828-9249

本体

三五〇〇円

部

Y・ウーン 著／吉原和男監修／池田

生寡婦

——広東からカナダへ、家族の絆を求めて

ISBN4-89489-015-1 C3097 ¥6000E

〔お客様控え〕

ご氏名

ご住所

お電話

月 日